

1学期の活動から

対象児：年中児 きく組
作成日：2020年10月22日
作成者：大石京香

ねらい：自分達で植えた花を見て、描きたい花をイメージしながら絵で表現する。



振り返り：一学期から花に興味を持って活動に取り組んできました。アート活動の中で自分達で植えた花のお世話をしたり、観察したりしていく中でお絵描きをする時に、花の絵を描く姿や、花の図鑑や絵本を借りてきて「植えた花とよく似ているね」と友達同士で話し合ったり、園庭を見渡してみると「コスモスによく似ている花があるよ」と教えてくれたり、花を通して友達同士で会話が膨らんだり、興味関心が広がっていました。また、きく組さんが一学期からのお気に入りの歌「にじのむこうに」をよく歌っていることから、虹色にも興味を持っていて、虹を描いている姿も見られました。子ども達が興味を持っていたこの2つを合わせて、「虹とコスモスの絵」を描きました。虹は好きな色の絵の具を選び、スポンジを使って滑らしていくと、虹が浮かび上がりました。子ども達も驚いた様子で「きれいな虹がかかった」と満足した様子でした。花は絵の具を使って、自分が想像するコスモスを描いていました。一人ひとり、花びらの形や虹の向きも違って個性ある作品に仕上がりました。絵の周りにはグリッターという少し変わった素材にも触れてみました。いろいろな素材に触れられるように、環境を整えたり、新しいことをたくさん経験しながら活動をしていきたいと思ひます。(協同性、社会生活との関わり、自然との関わり、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)